

山梨県

「やまびこ支援学校移転整備事業」

本施設は、大月市内に昭和54年に知的障害養護学校として開校（現在は知肢併置）しましたが、施設の老朽化が顕著であり、敷地が土砂災害警戒区域の指定を受けていることなどから、教育環境の充実を図るため、同市内の桂台ニュータウン内の敷地を選定し、移転整備を行いました。

整備する学校の規模は、22学級80人定員で、小学部から高等部までの学部等棟、特別教室棟、寄宿舎等で構成されています。

計画に当たっては、児童生徒が使用する部分を平屋建てとし、「かがやく笑顔が生まれる校舎づくり」を目指して、屋根トップライトから中廊下に光を取り入れた明るい施設、中庭を設け、安心してのびのびと学習できる施設となるようしています。また、地域住民と交流が図れるよう、視聴覚室、演習室を正面玄関付近に配置しています。

校舎の構造は、「ぬくもり」や「やすらぎ」が感じられる施設となるよう木造とし、構造材の一部、羽柄材及び造材材には県産木材を使用し、木材の利用促進に配慮しています。

【所在地】 山梨県大月市猿橋町桂台
3丁目31-1

【敷地面積】 17,022 m²

【建築面積】 6,674 m²

【延べ面積】 6,883 m²

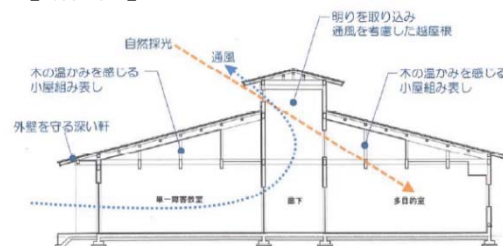
【構造・階数】 木造（一部RC造・S造）・地上2階

【工期】 平成30年6月～令和2年6月

【外観】



【断面図】



【県産材】



(県土整備部営繕課)